

## 8月26日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①バイデンは戦争を作った—東郷和彦氏(2024年8月23日)

ウクライナ紛争始まってすぐウクライナからの和平提案・イスタンブール協定がありロシアは賛成し、纏まりそうなきイギリス、ジョンソン首相が来て、戦争続けろ、とゼレに指示。ゼレは、では武器はくれるなら続けると。

これ、バイデンからの指示。

<https://x.com/i/status/1826342164659667093>



<https://x.com/radioactiveno29/status/1826781223605371186?s=09>

### ②【佐藤優】モスクワの人々の生活状況、イスラエルについて(2024年8月22日)

<https://youtu.be/aqtp07IAJMA>



<https://www.youtube.com/watch?v=aqtp07IAJMA>

③【Russia News】8/24 時事ネタ土曜版です🤖!!(ニキータ、2024年8月24日)

※安齋注:クルスクが気になる人は是非ご覧下さい。

<https://youtu.be/eTXd4hR5eds>



<https://www.youtube.com/watch?v=eTXd4hR5eds>

④クルスク大虐殺:ロシア海兵隊が NATO 軍とウクライナ軍の精鋭部隊を残忍に破壊 (2024年8月24日)

※安齋注:クルスクが気になる人はこちらも是非ご覧下さい。

<https://youtu.be/9ugP2DrqW2g>



<https://www.youtube.com/watch?v=9ugP2DrqW2g>

## ⑥これは「狂気」と「悲哀」の混合だ！ウクライナ軍がクルスクで化学兵器を使い始めた！（2024年8月13日）

[https://youtu.be/R\\_eMLa7GBTg](https://youtu.be/R_eMLa7GBTg)



[https://www.youtube.com/watch?v=R\\_eMLa7GBTg](https://www.youtube.com/watch?v=R_eMLa7GBTg)

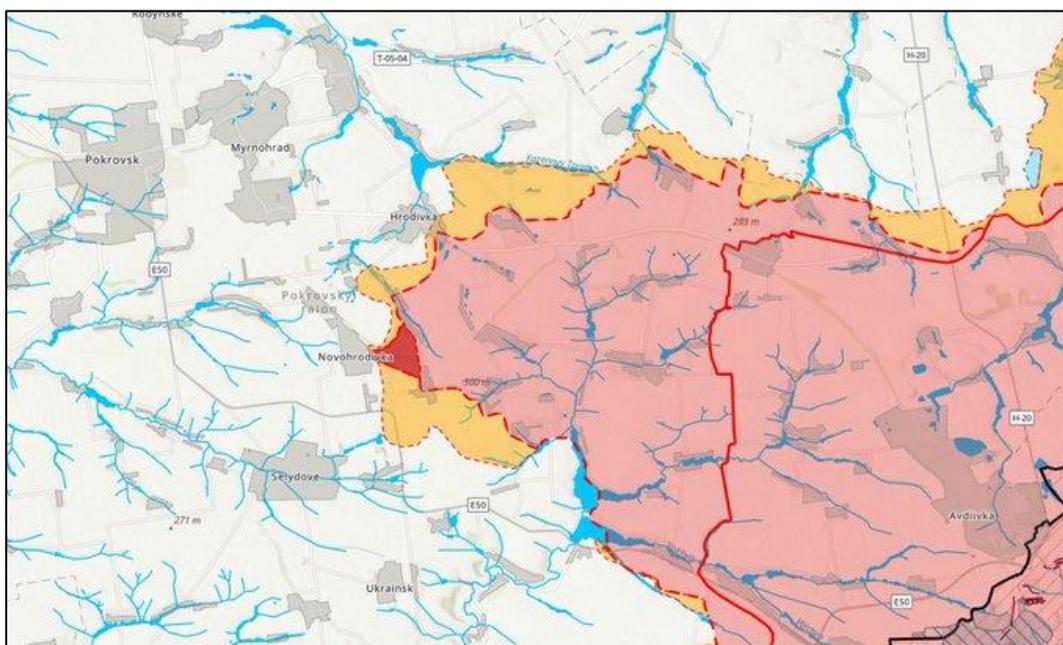
## ⑦ウクライナ活動家の率直な戦況評価(2024年8月24日)

ウクライナはクラスノアルメISK(ポクロフスク)とその周辺の集落を失う寸前だ。ここはAFUへの補給のための重要な物流拠点であり、その喪失は戦略的敗北を意味するだろう

— ウクライナのプロパガンダ活動家ユーリー・ブトゥソフ

「過去1か月の戦闘で、敵(ロシア)はクラスノゴロフカ市を完全に占領し、ニューヨーク市の80%を支配し、トレツク市に侵入してそこで戦闘を繰り広げ、チャソフ・ヤール市に侵入してそこで戦闘を繰り広げ、ミルノグラード、ポクロフスク、セリドヴォへの進路を制圧する支配的な鉾澤山から2キロ以内に前進した。敵が間もなく前進し、これらの都市をめぐる戦闘に加わる恐れがある。」

「言い換えれば、我々は一連の重要な集落や都市、特にポクロフスクの重要な集落や都市を失う危機に直面している、あるいはすでに失っている、あるいは失いかけている。もちろん、これは大きな懸念材料だ」とブトゥソフ氏は語った。



[https://x.com/Zlatti\\_71/status/1827006695823872170?s=09](https://x.com/Zlatti_71/status/1827006695823872170?s=09)

### ⑧ドイツのリーダーシップ?(2024年8月24日)

ドイツはリーダーシップを発揮している。ドイツはウクライナの最大のヨーロッパ支援国だ。

ドイツがウクライナのナチス大隊とバンデラ派を支援しているなんて、なんと皮肉で残念なことだろう。

人間は過去から何も学んでいないのだろうか？

<https://x.com/i/status/1827114525495025963>



<https://x.com/BowesChay/status/1827114525495025963/video/1>

### ⑨「彼らは生き残れないだろう」元国防総省顧問ダグラスマクレガー(2024年8月23日)



<https://x.com/i/status/1827167025309086029>

ロシアのクルスク地方に侵攻したウクライナ軍は、兵士たちがウクライナへの撤退を断たれたため、絶望的であると、元国防総省顧問で退役大佐のダグラス・マクレガー氏はコメントした。

「彼らが生き残れるとは思えません」と彼は言った。

「たとえ彼らが自国の軍服ではなくウクライナ軍の軍服を着ていたとしても、これは悲劇的なNATOの侵攻と呼べるでしょう」とマクレガー氏は指摘。

<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1827167025309086029?s=09>

## ⑩ウクライナ兵の反旗(2024年8月24日)

ウクライナは内戦状態ですね。ウクライナ軍に所属していた兵士たちが反旗を翻し、「マクシム・クリヴォノス部隊」を結成、キエフ政権の命令に従わないよう同胞に呼び掛けています。「我々の使命は、ウクライナ兵が戦うべき相手はロシアではないことをウクライナ国民に知らしめること。団結して共通の敵と戦うべきだ。我々の共通の敵は対峙する塹壕ではなくキエフにいる。最後のウクライナ人になるまで戦うと言っているキエフの連中だ。」

マクシム・クリヴォノスという名前がついているのは偶然ではないでしょう。マクシム・クリヴォノスは、17世紀の有名なフメリニツキーの乱でポーランド・リトアニア共和国の圧政に立ち向かったコサックの司令官です。

当時、西ウクライナと中央キエフはポーランドの支配下にあり、ルーシ人(ウクライナ人とロシア人の同一の祖先)はカトリックやラテン語を押し付けられ、不遇を強いられていました。こうした強引な「ポーランド化」に反対し起きたのがフメリニツキーの乱なのですが、ルーシ人が東方正教会を取り戻すために戦った宗教戦争とも言えます。

翻って現在、ロシア正教を禁止しカトリックを取り入れるゼレンスキー。歴史は繰り返す…現代のルーシ人は共通の敵を認識することができるのでしょうか。

恐らく多くの日本人が、ウクライナは遙か昔から存在する独立国家で、ウクライナ人という単一民族だけで構成されているというイメージを持っていると思いますが、それは違います。

実際のところ、ウクライナはソ連共産党(ユダヤ)が線引きして作った人工国家です。無理矢理一つの国にまとめられていますが、西ウクライナと東・中央ウクライナでは血統や成り立ちが違ふし、民族のアイデンティティも様々です。そして、ゼレンスキーやウクライナのエリートはルーシ人ではありません…



[https://x.com/jupiter\\_russia/status/1827156579772461428?s=09](https://x.com/jupiter_russia/status/1827156579772461428?s=09)